

## 審議会等会議録

審議会等の名称	令和3年度第1回山口市立図書館協議会
開催日時	令和3年5月20日（木曜日）13：30～15：30
開催場所	山口情報芸術センター 2階 多目的室
公開・部分公開の区分	公開
出席者	安光会長、中村委員、大野委員、田邊委員、坂田委員、山本委員、國弘委員、山口委員、牛見委員
欠席者	伊東副会長、原田委員、吉野委員
事務局	中央図書館長、小郡図書館長、秋穂図書館長、阿知須図書館長、徳地図書館長、阿東図書館長、中央図書館サービス担当副参事、中央図書館管理担当主幹、中央図書館サービス担当主幹
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 委嘱状の交付</li> <li>2 会長、副会長の選出</li> <li>3 令和2年度山口市立図書館運営状況報告</li> <li>4 各館の令和2年度事業実績及び令和3年度事業予定</li> <li>5 こどもワイワイ図書館 実績報告</li> <li>6 その他</li> </ol>
内容	<p>○中央図書館・村中副館長</p> <p>改めまして皆さんこんにちは。今日は雨の中、また、お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。</p> <p>只今より「令和3年度 第1回 山口市立図書館協議会」を開催いたします。私は本日の進行を務めます、中央図書館副館長の村中と申します。よろしく願います。では、すみませんが、座って進行させていただきます。</p> <p>最初に委嘱状の交付を行います。中央図書館長が挨拶を申し上げた後、皆様の前に委嘱状をお持ちいたしますので、お受け取りください。</p> <p>では館長、よろしくお願いいたします。</p> <p>○中央図書館・松富館長</p> <p>皆さんこんにちは。4月からお世話になっております松富と申します。こんな顔をしております。初めての方はお見知りおきください。</p> <p>さて、この協議会ですけど中の資料にありますとおり、図書館法第14条に基づいた諮問機関でございます。これから任期の2年間、私どもが山口市立図書館についていろいろと諮問させていただきたいと思っておりますので、委員の皆様には対応していただきたいと思っております。</p> <p>通常の図書館運営業務に加えまして、特にこの2年間における大きな業務として「第四次山口市立図書館サービス計画」を策定することになっております。今年度はこの計画策定に係る「市民アンケート」を実施しまして、その結果をもとに皆様方</p>

の御意見をいただくことになるかと思えます。来年度は計画の草案の作成を進めるなかで、また皆様方に御意見をいただくことになろうかと思えます。我々としても資料提供等に精いっぱい努めてまいりますので、皆様の御協力をお願いいたします。

簡単ではありますが、挨拶に代えさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、牛見 沙也香 様 山口市立図書館協議会委員を委嘱します。

委嘱期間は令和3年4月1日から令和5年3月31日までとします。

令和3年4月1日 山口市教育委員会

よろしくお願いいたします。

大野 進二 様 以下同文です。どうぞよろしくお願いいたします。

國弘 洋子 様 以下同文です。どうぞよろしくお願いいたします。

坂田 和枝 様 どうぞよろしくお願いいたします。

田邊 佳子 様 よろしくをお願いいたします。

中村 佳恵 様 よろしくをお願いいたします。

安光 裕子 様 よろしくをお願いいたします。

山口 智子 様 よろしくをお願いいたします。

山本 美知子 様 よろしくをお願いいたします。

#### ○中央図書館・村中副館長

松富館長、委員の皆様、ありがとうございました。

この度の本協議会は、委員12名の構成となっております。本日は、伊東委員、原田委員、吉野委員が御欠席となっておりますが、委員の過半数の出席がございますので、「山口市立図書館条例施行規則」第24条により、会議が成立しておりますことを予め御報告いたします。

続きまして、本日の資料について確認させていただきます。先日、郵送いたしましたが、お手元にありますでしょうか。無ければ事務局でも用意しておりますので、お申し出ください。

なお、前の期から引き続いての委員となられました方には、「令和2年度第3回山口市立図書館協議会」の議事録（案）を置かせていただいております。これについては図書館ホームページへの掲載を予定しておりますので、議事録（案）をひとつお取り御確認いただき、修正・訂正箇所がございましたら、5月27日（木）までに、メールまたはFAX等で事務局まで御連絡いただければと思います。

それと、本日、これらの資料とは別に新たな資料をお配りしています。これまでも法律のこと等がありましたが、この度、新たに委員の任期が始まるということで、「図書館法」と「条例」「施行規則」のうち、図書館協議会に関することを抜粋した1枚紙を置かせていただきました。

また、本日の協議会は議事録作成のため、録音させていただきます。目の前で見えているかと思いますが、録音用機材を会場中央に設置しておりますので、

皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

なお、議事録に関しては、皆様から修正・訂正等の確認をいただいた後、図書館ホームページに掲載する予定です。

それではここで、委員の皆様から一言ずつ自己紹介をお願いいたします。五十音順ということで、牛見委員さんから順番にお願いします。

○牛見委員

山口市立湯田小学校に勤務しております、牛見沙也香と申します。どうぞよろしくをお願いいたします。

○大野委員

本日出席の委員の中では“黒一点”となりましたが、大野と申します。今回、「こどもワイワイ図書館」について取材し、後ほど、いろいろと御報告させていただきますので、お付き合いください。それから、各館長さん方には大変お世話になりました。ありがとうございました。

○國弘委員

委員番号9番の國弘洋子と申します。公募で入らせていただきました。よろしくをお願いいたします。

○坂田委員

阿知須図書館のほうから協議会に参りました坂田和枝と申します。よろしくをお願いいたします。

○田邊委員

「小郡図書館友の会『鉢の子』」から来ました田邊と申します。よろしくをお願いいたします。

○中村委員

「山口市立中央図書館友の会『トネリコ』」の中村と申します。よろしくをお願いいたします。

○安光会長

山口県立大学の安光裕子と申します。図書館司書や司書教諭の養成を行っております。よろしくをお願いいたします。

○山口委員

公募委員の山口です。よろしくをお願いいたします。

○山本委員

委員番号8番、「おいしいおかゆの会」の会員、山本美知子と申します。よろしくをお願いいたします。

○中央図書館・村中副館長

ありがとうございます。

続いて、事務局メンバーを紹介いたします。まず、中央図書館の松富館長です。

○中央図書館・松富館長

松富です。よろしくをお願いいたします。

- 中央図書館・村中副館長  
小郡図書館の桶島館長です。
- 小郡図書館・桶島館長  
桶島と申します。よろしくお願ひいたします。
- 中央図書館・村中副館長  
秋徳図書館の小野館長です。
- 秋徳図書館・小野館長  
小野と申します。よろしくお願ひいたします。
- 中央図書館・村中副館長  
阿知須図書館の中原館長です。
- 阿知須図書館・中原館長  
中原と申します。よろしくお願ひします。
- 中央図書館・村中副館長  
徳地図書館の榎本館長です。
- 徳地図書館・榎本館長  
榎本と申します。よろしくお願ひいたします。
- 中央図書館・村中副館長  
阿東図書館の塩見館長です。
- 阿東図書館・塩見館長  
塩見と申します。よろしくお願ひいたします。
- 中央図書館・村中副館長  
それから、中央図書館の尾崎管理担当主幹でございます。
- 中央図書館・尾崎管理主幹  
事務局をさせていただいております尾崎と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。
- 中央図書館・村中副館長  
同じく中央図書館の水師サービス担当主幹でございます。
- 中央図書館・水師サービス担当主幹  
水師と申します。よろしくお願ひします。
- 中央図書館・村中副館長  
同じく中央図書館の平岡サービス担当主幹です。
- 中央図書館・平岡サービス担当主幹  
平岡と申します。よろしくお願ひいたします。
- 中央図書館・村中副館長  
以上です。よろしくお願ひいたします。  
それでは続きまして、この4月から新しい任期となりましたので、改めて会長及び副会長の選出をお願ひしたいと思います。  
会長及び副会長につきましては、山口市立図書館条例施行規則第23条により、

委員の互選によって定めることとなっております。皆様の中から自薦、他薦を含めて、どなたか御意見をいただけたらと存じますが、いかがでしょうか。

御意見が無いようなので、もしよろしければ、事務局のほうから選出案を提示させていただきます。

まず、会長として、これまでの協議が継続しているという観点もありますことから、引き続き安光会長にお願いできたらと思います。

副会長につきましては、公立図書館の勤務経験があり、山口大学人文学部図書館司書養成課程で司書資格課程を担当されている、今日は御欠席されておられますが、伊東委員にお願いできたらと思います。

皆さん、いかがでしょうか。御賛同いただける方は、拍手をお願いします。

(会場内、拍手多数)

多数の拍手をいただきました、会長は安光委員、副会長は伊東委員で承認されました。よろしくお願いいたします。

それでは、山口市立図書館条例施行規則第24条により、会長が議長となります。この後は安光会長に議事進行をお願いいたします。安光会長は、議長席へ御移動ください。

では、安光会長、よろしくお願いいたします。

○安光会長

みなさんこんにちは。山口県立大学の安光裕子と申します。

さて、図書館をめぐっては、コロナ禍ということもあり厳しい状況です。最近、山口市内でも新型コロナウイルスの感染者が増加しており、各市立図書館が休館されるのではないかとドキドキしておりましたが、どうやらそのような判断はされないようなので、安心してるところです。そんなコロナ禍の状況だからこそ、我々は図書館サービスについて考えなければならないと思っている次第です。皆様方から日頃思っていることや忌憚のない御意見を頂戴できたらと思うので、よろしくお願いいたします。

ここからは座って進行させていただきます。

では、議事に入ります。まずは「3. 令和2年度山口市立図書館運営状況報告」について、事務局から説明をお願いいたします。

○中央図書館・尾崎管理主幹

報告の前に、お手元の資料7ページにある「令和2年度事業実績」につきまして、内容がこれから御説明させていただくものと重複することを予めお伝えいたします。お帰りになられてから、ゆっくりお読みいただければと思います。

それでは、「令和2年度山口市立図書館運営状況」につきまして御報告いたします。資料3ページを御覧ください。ここからは着座して説明いたします。

まず、「I 令和2年度の概況」についてです。

1番目にあります「第三次山口市立図書館サービス計画」は3年目を迎えました。このうち、「まちじゅう読書推進プロジェクト事業」では、カフェ等の16店

舗へ50から60冊の本を2ヶ月に1回のペースで配本いたしました。パートナー事業者を増やしながら、図書の拡充を進めております。併せて、2番目の「第三次子ども読書活動推進計画」も3年目を迎えました。

次に3番目ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各市立図書館を臨時休館させていただいた期間がありました。

1回目は、令和2年4月13日から5月10日の間、市立図書館全館で実施し、2回目は、令和2年11月6日から8日、中央図書館で実施しました。2回目については皆様御承知のとおり、この施設内、詳しくは、同じ建物にあります山口情報芸術センターの職員に新型コロナ陽性者が発生した関係で、中央図書館のみの休館となっております。

4番目は「臨時窓口の開設」です。先ほどの臨時休館期間終了後、予約本の受け取りのための臨時窓口を開設しました。1回目は令和2年5月11日から17日に全館で、2回目は令和2年11月9日から15日に中央図書館でそれぞれ実施しております。

5番目として、市立図書館全館において同日イベントとして開催予定でした「こどもワイワイ図書館」をはじめ、昨年度実施予定だった多数の行事が中止、延期となりました。コロナ禍が続くなか、特に、春先の行事の実施はなかなか難しい状況でした。

次に、6番目の「保育園配送の拡充」についてです。本の保育園への配送については、令和元年度から試行事業として9園に配送していましたが、令和3年1月から本格実施に移り、現在は17園へ本の配送を行っております。

7番目ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、図書自動貸出機を導入いたしました。この協議会でも昨年お伝えいたしましたが、国の交付金を活用し、中央図書館に2台、小郡図書館に1台、それぞれ導入いたしました。なお、中央図書館は既存の2台も含め、計4台の設置となっております。

「Ⅱ 館別概況」でございますが、こちらについては後ほど、各館より御報告がありますので、ここでは割愛させていただきます。

続いて資料4ページ、「Ⅲ 事務事業別概況」についてです。「事務事業別」というのは「予算別」とも呼ばれており、ここでは図書館事業に係る7本の事業についての概況を御説明させていただきます。

まず、「1. 図書館管理運営業務」についてです。

昨年度、この「山口市立図書館協議会」を3回開催し、皆様方の御協力をいただきました。

2番目は、先ほど御説明した「図書自動貸出機の導入」になります。

「③まちじゅう図書館事業の拡充」については、パートナー事業者を公募させていただきました。現在は16事業者が登録され、各事業者へ配本を行っているところです。この「サテライトライブラリー」の利用状況は、2ヶ月に1回のペースで50から60冊を中央図書館から配本しており、昨年9月、パートナー事業者に対

して実施したアンケートによると、全事業者合計で月間約2,200人に利用されています。また、パートナー事業者による図書館イベントも多数開催されており、昨年度は15事業が行われたところです。

続いて「2. 移動図書館管理運營業務」についてです。

北部地域は阿東図書館、南部地域は中央図書館をそれぞれ発着地点とする、移動図書館車「ぶっくん」の2台運行体制できめ細やかな事業を展開しているところです。昨年度の利用状況ですが、貸出点数は27,773冊となり、1,976冊の減少、利用者数は8,064人と2,000人弱の減少となりました。1人当たりの貸出冊数は2.93冊から3.44冊と多少増えましたが、数値としては全体的に下がっている状況です。

次に、「3. 図書館資料整備事業」についてです。

例年どおり、各館で選書を行い、「選書委員会」で受入れ資料を決定しております。また、「除籍検討委員会」を毎月開催することを通じ、図書を除籍について積極的に取り組んでいるところです。昨年度の購入点数は33,744点となり、前年度比1,327点の減となりました。寄贈の受入は2,973点で216点の増、除籍数は26,151点で141点の減となっております。

資料4ページの一番下、「4. 学校図書館支援サービス推進事業」についてです。

1番目ですが、市内全ての小・中学校を訪問して直接支援させていただいたとともに、保育園への配送を拡充させていただいたところです。昨年の団体貸出数（学校への配送数）は35,001冊と、前年度比で930冊の増加でした。また、学校配送用の資料購入数は975冊と前年度比56冊の増になりました。

2番目ですが、学校からの要請に応じて「出張ブックトーク」を実施しました。昨年度は、コロナ禍もあって、その数はかなり減りました。小・中学校3校で3回実施し、延べ150人の児童・生徒や先生方が聴講しました。前年度比ではそれぞれ2校、2回、1,231人の減で、人数に関しては実施校の規模もあっての大幅減となりました。

3番目では、各学校における職場体験やインターンシップ等の受け入れを行いました。昨年度は職場体験の受け入れが延べ3回、人数は4人となり、前年度比でそれぞれ15回、24人の減少です。インターンシップ等の受け入れは延べ2回、人数は7人で、前年度比でそれぞれ3回、3人の減少です。コロナ禍の影響により、学校の単位取得に必要なケースや、その他の理由でどうしても受け入れの必要がある方々のみに絞らせていただき、引き合いがあってもお断りさせていただいた状況だったため、数が減少しております。

「④学校司書研修会への参加」については、昨年度の学校図書館の児童生徒1人当たりの貸出冊数は46冊となりました。先日、学校教育課から報告がありましたが、1人当たり11冊の増加となっており、学校図書館において児童・生徒の貸出点数が随分と増える結果となりました。

続きまして、「5. ブックスタート推進事業」についてです。現在は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中央図書館における読み聞かせを休止しており、「ブックスタートパック」の贈呈のみを実施しております。昨年度の「ブックスタート体験会」の開催回数は61回となり、参加率は65.1%と前年度比3.8%の減となっております。

2番目にあります「ブックスタート推進委員会」については、昨年度は開催せず、書面議決に変更いたしました。

また、「ブックスタート体験会」に参加できなかった方のうち、希望者に対して「ブックスタートパック」の郵送による贈呈を実施しております。昨年度の郵送数は238冊で、体験会での贈呈数と合わせた「ブックスタートパック」の贈呈率は78.2%と前年度比7.6%の減となっておりますが、郵送分が年度跨ぎとなってしまう、残りの数は今年度に入ってから郵送されました。したがって、この残りの郵送分に関しては今回の数値から除かせていただいたということで御理解いただければと思います。

「6. 子ども読書活動推進事業」では、資料に記した3事業を実施しておりますので、後で御覧いただければと思います。

次に、資料5ページの下、「7. 図書館活用推進事業」です。「新たな利用者層拡大に向けた行事等」については、資料に主な実施状況を記しておりますので、御確認ください。

資料6ページの「他機関等との連携」としてはまず、「山口大学図書館」「山口県立大学図書館」「山口学芸大学・山口芸術短期大学図書館」との図書相互返却を実施しております。昨年度、市立図書館所有の図書を各大学図書館で返却された数は1,916冊と前年度比893冊の減、各大学図書館所有の図書を市立図書館で返却された数は39冊で4冊の減となりました。

次に「②阿東地域分館配送」では阿東地域交流センター4分館への配本を行い、昨年度の貸出は37冊で前年度比102冊の減、返却は199冊で33冊の減です。

徳地地域でも同様に4分館への配本を行っており、昨年度は貸出が7冊、返却は28冊となりました。徳地地域の4分館において利用の数が少なく、今後は市民への周知が課題となります。

以上、足早な説明となりましたが、「令和2年度山口市立図書館運営状況」の報告を終わります。

続けて、「令和2年度山口市立図書館各種指標」について御報告いたします。資料8ページを御覧ください。

まずは、各図書館別の指標ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館などを実施したこともあり、全体的に貸出点数・入館者数とも減少しております。

続いて資料9ページ、市立図書館全館における各種指標です。まず、貸出点数は

目標値175万点に対し、昨年度の実績は1,232,709点となり、前年度比では、99,594点の減です。入館者数は目標値74万人に対し、昨年度の実績は、509,663人となり、前年度比で155,384人の減でした。

蔵書冊数については70万冊を目標としましたが、計画的な資料整理の結果として、平成29年度にその目標を達成しております。昨年度も引き続き、資料の鮮度を保つために除籍を計画的に行っております。

市民一人当たりの貸出点数については、本市が「日本一本を読むまち」になることを目指すうえで重要な指標であり、その目標数を10冊に設定しておりますが、昨年度の実績は6.4冊となり、前年度比で0.5冊の減でした。以下の事業につきましても全体的に前年度比でマイナスとなった傾向が強く、その要因として新型コロナに伴う臨時休館による影響が大きかったと推察しております。

以上、令和2年度の報告とさせていただきます。

○安光会長

今、事務局から御報告がありました「令和2年度山口市立図書館運営状況」及び「令和2年度山口市立図書館各種指標」について、何か御質問等はございませんでしょうか。

先ほど、インターンシップ等については報告がありましたけど、各大学から図書館実習で4名の学生を受け入れたと聞いておりますが、この件については先ほどの実績には入っていないということでしょうか。

○中央図書館・尾崎管理主幹

図書館実習については「インターンシップ等」に入れておりまして、先ほど報告した2回のうち、1回はインターンシップ、もう1回は山口県立大学の学生さんを受け入れている図書館実習になります。

○安光会長

ちょっと分けていただけると、実績になるのではないかと。図書館実習は図書館司書資格の取得にも直結する話ですので、どうかよろしくお願いします。

それではひとまず次に進みまして、御質問等は最後にまとめて募ろうかと思えます。コロナ禍の影響で全体的に数値が下がる結果となってしまいました。

次に、「4. 各館の令和2年度事業実績及び令和3年度事業予定」について、中央図書館から順番に簡潔な説明をお願いします。

○中央図書館・松富館長

では、資料の10ページの表の右を御覧ください。中央図書館の令和2年度の実績については先ほど説明がありましたので、私からは令和3年度の主な取組を御説明いたします。根本的な取組としての新型コロナ対策をしつつ、各種取組を計画しております。

初めに「①利用層拡大の取組」のうち、4番目の「まちじゅう図書館の取組」では現在、16事業者がパートナー事業者として登録されていますが、その数を更に充実させたいと考えております。

「②子どもの読書活動の推進」のうち、下の「保育園への配送サービスの充実」においては、今年1月、本の配送先を9園から17園に増加させたところで、9月には、更に37園へと拡大する予定です。

そして、最初の挨拶でも触れましたが、「④第四次山口市立図書館サービス計画策定に向けた取組」として、市民アンケートを実施していきます。

以上でございます。

○安光会長

ありがとうございます。それでは小郡→秋穂→阿知須→徳地→阿東の順に進めてまいります。小郡図書館長さん、お願いいたします。

○小郡図書館・桶島館長

まずは資料3ページを御覧ください。令和2年度の小郡図書館での館別概況として、小郡文化資料館と連携したイベントの実施や、「小郡図書館友の会『鉢の子』」とのイベントの実施を通して、更なる利用者拡大に向けた取組を推進いたしました。また、定例のおはなし会を開催し、子どもの読書活動の推進を図りました。

続いて、資料7ページの「事業実績」から、主なものを説明いたします。

表に記した行事のうち、「鉄道クイズラリー」「昔話おはなし会と昔の道具体験」「本で知ろう、体験しよう 昔の道具」については、令和元年度から我々、小郡図書館が目標のひとつに掲げている「他機関との連携強化」の一環として開催いたしました。自分たちだけで実施していくのではなく、他機関が行うイベントに我々が参加したり、逆に我々が行うイベントに他機関からの協力を得るようにしたりして、地域を盛り上げていくことを目指しております。

例えば「鉄道クイズラリー」は元々、小郡文化資料館が単独イベントとして企画していたところ、参加者をどうにかして図書館へ呼び込みたいという話を持ち込み、そこから連携イベントとしての開催に至りました。結果、イベント参加者が図書館を訪れました。「昔話おはなし会と昔の道具体験」と「本で知ろう、体験しよう 昔の道具」は本図書館主催のイベントで、準備を進めるなかで小郡文化資料館が所有している昔の民具などを貸してもらい、それらを参加者の方々に体験していただきました。当日、参加者に糸車や重たい鉄アイロン、かぶり笠について「昔の方はこうやって使っていたんだよ。」と説明しました。

余談ですが、昨年国が配り、世間から酷評されていた「アベノマスク」を職員が持ち寄り、藍染めしたうえで改めて着用する取組も実施しております。

資料に戻りまして、下のほうにあります「鉄道サミット」は令和2年度の取組における「他機関との連携」の集大成となっており、小郡文化資料館、JR新山口駅、そして、鉄道関連の資料を多く所有しております山陽小野田市歴史民俗資料館から資料をお借りしまして、Lゲージの展示や大人向けや子ども向けそれぞれの講演など、各種行事を実施しました。参加者数623人というのは、大盛況だったと思います。

以上、令和2年度の小郡図書館における事業実績について御報告しました。

令和3年度の主な取組予定といたしましては、「①利用者層の拡大」「②子どもの読書活動の推進」のほか、「③他機関との連携強化」として、JR新山口駅前の「KDDI維新ホール」内にオープンしたばかりの「産業交流スペース Meguriba (メグリバ)」と新たに連携をはじめました。我々としては、ビジネス支援のお手伝いにはまだまだ至らないのですが、Meguriba (メグリバ)側も図書館との連携を望まれておられますし、両者で何か出来ればと考えております。加えて、「④資料整備」を進めるとともに、「⑤施設修繕」では団体室で発生している雨漏りについて、今年7月以降に大規模な修繕工事を実施する予定です。

以上でございます。

○安光会長

ありがとうございます。続いて秋穂図書館長さん、お願いいたします。

○秋穂図書館・小野館長

秋穂図書館でございます。まず資料3ページを御覧ください。

令和2年度の館別概要をそのまま読ませていただきますと、多様なニーズに対応する読書環境づくりとして、企画展示の充実を図り、講演・講座等も感染症予防対策に留意して開催しました。また、子ども対象のおはなし会等の活動を推進しました。

続いて資料7ページの「事業実績」を御覧ください。昨年度はコロナ禍において、参加型の行事がほとんど中止となりました。

年度の後半に入ると、「第6回ビブリオバトル in 秋穂」や「大人のためのおはなし会」、「クリスマスおはなし会スペシャル」を開催し、各行事が出来る幸せを感じました。

また、昨年は、秋穂図書館開館10周年ということで、図書館まつりにあわせて10周年記念企画を実施予定でしたが、これも中止になりました。その代替企画として開館10周年記念企画展示を8月1日からの約2週間にわたって実施し、開館前後の活動記録等を展示いたしました。更に山口県立大学の学生さんと「図書館友の会・秋穂」の皆様の御協力のもと、「秋穂のむかしばなし(紙芝居)とおはなし会」を実施し、来館者の皆様にお楽しみいただいたところです。

以上が令和2年度の実績報告でございます。

続いて令和3年度の主な取組ということで、資料10ページを御覧ください。

昨年度の反省を踏まえつつ、コロナ禍の動向も引き続き注視しなければならないことから、第一に「コロナ禍における図書館の運営のかたち」について考えていかなければいけないのかな、と思います。これについては、日本図書館協会から示されている「図書館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に沿いながら、参加型や展示型の行事をどのように運営していくべきか、中央図書館や他館とも協議しながら、当館なりに考えていきます。これが令和3年度の主な取組になるかと思えます。

②から⑤については例年どおりの目標で考えております。

最後に「⑥秋穂地域資料の充実」です。秋穂地域が生誕地である有名な洋画家・小林和作の資料をはじめ、地域の歴史に関する資料の充実について、図書館内のギャラリーコーナーも利活用させながら進めていきたいと考えています。

実は、私の顔見知り「個人で所有している絵画を図書館へ提供したい」と話を持ち込んだのですが、実物の展示は経費面で難しいため、「レプリカ展示でどうにかならないか」と話を進めているところです。

以上です。

○安光会長

ありがとうございます。続いて阿知須図書館長さん、お願いいたします。

○阿知須図書館・中原館長

阿知須図書館の令和2年度業務実績の主なものについて、資料7ページを基に説明いたします。

「ブックスタート推進事業」につきましては新型コロナウイルス感染防止の観点から対面での読み聞かせを極力減らし、図書の手渡しと内容の説明を中心とした「ブックスタート体験会」を7月からの奇数月に実施しました。

「子ども読書活動推進事業」では「好きなおはなしの絵」を6月26日から8月26日の期間、図書館の展示ロビーで展示しました。応募者は46人と例年よりかなり少なくなりました。

読み聞かせボランティア「おはなしキラキラ」によるおはなし会は、コロナ禍で通年開催が見合わせとなりましたが、11月3日の「きらら館まつり」内で特別に実施され、33人の子どもたちが詰めかけました。

「学校図書館支援サービス推進事業」では、阿知須小学校特別支援学級から図書館見学として13人を受け入れ、図書館の利用について学んでもらいました。

また、阿知須地域にある小・中学校の図書館担当教員と学校図書館指導員を各校ごとに阿知須図書館に招き、「学校図書館会議」を開催し、先生方との情報交換をしました。蔵書の要望を聞くなどし、綿密に連携を取ることで、学校図書館の支援体制強化を図っております。

行事についてはコロナ禍で例年より規模を縮小しておりますが、中でも、11月3日の「きらら館まつり」には、658人が集まりました。

6月16日から7月10日には七夕かざりを展示し、89人の市民が願い事を書いた短冊を飾りました。9月から11月には「おすすめ本を教えてください」という企画を実施し、36人の参加がありました。

それと、これは阿知須図書館ならではの行事と思いますが、朗読ボランティアの方が6月からの毎月第2火曜日、視覚障害者に向けて1人当たり1時間程度朗読サービスを行っており、毎月1人が参加しております。

コロナ禍で例年よりさみしい内容となりましたが、令和2年度の事業実績の報告は以上となります。

続いて資料10ページ、阿知須図書館の令和3年度の主な取組予定について御説

明いたします。

「①利用しやすい環境づくり」では、地域の方々に親しまれる図書館として、これまでも親切丁寧な接客を心掛けているのですが、今年度は特に地域図書館であることを活かし、いつも利用して下さっている方が、“サードプレイス（家、職場に次ぐ第三の居場所）”としてより多く訪れ、快適に過ごしてもらえるよう、声掛けなどの雰囲気づくりに努めてまいります。

また、資料展示コーナーを一般図書コーナーや児童図書コーナーに接する形で設置しておりますが、本年度も毎月、利用者に興味を持ってもらえるテーマを取り上げ、展示していきます。旧阿知須町公民館時代からの蔵書の中には、手に取るのが嫌なほどボロボロな状態のものがたくさんあります。そこで本年度からの新たな取組として、こうしたボロボロな状態の蔵書について、単なる除籍に加え、1冊ごとに内容を精査したうえで新品に交換するようにして、魅力的な書庫の維持を目指します。

「②新たな利用者の拡大促進」では隣接地域からの来館者を増やすため、佐山地域交流センターに「図書館だより」を設置したり、宇部市からの利用者にも「図書館だより」を配布したりして、利用促進に努めてまいります。

行事については、秋の「きらら館まつり」を中心に、手作り参加型の企画も計画しております。市民が来館するきっかけづくりになればと考えております。阿知須図書館では入口に展示ロビーがあり、絵画や写真などの展示を行っておりますが、これが幅広い層の来館につながっているため、今後も積極的に活用していきたいと思っております。

「③学校等の連携強化」については、引き続き阿知須地域の小・中学校との「連絡会議」を実施し、子どもたちに図書館を一層利用してもらえるよう、要望を聞くなどして連携を強めてまいります。また、図書館に隣接するあじす保育園の年長さんに利用カードを作成してもらい、来館してもらえるような取組を行っていただければと思っております。

阿知須図書館からは以上となります。

○安光会長

ありがとうございます。続いて徳地図書館長さん、お願いいたします。

○徳地図書館・榎本館長

それでは、徳地図書館の令和2年度の事業実績について申し上げます。資料7ページを御覧ください。

まず、「図書館まつり」については昨年11月1日に開催しまして、雑誌等の付録をプレゼントする「お楽しみ抽選会」や、クリアファイルを使ったマスク入れを作る「図書館工房」、「おいしいおかゆの会」の皆様による絵本の読み聞かせなどを実施したところです。例年、「図書館まつり」と同じ日に「とくぢフェスティバル」も開催され、毎年多くの人出で賑わっております。

まつり当日の図書館への来館者数も1,500人を超えていますが、去年は、

「とくちフェスティバル」のほうがコロナで中止となり、まつり当日の来館者数は116人となりました。

4月26日に予定していた「こどもワイワイ図書館」は、残念ながらコロナの影響で中止となり、その後、5月から6月にかけて実施した「ブックリンピック」、7月の七夕かざり、8月の「図書館探検隊」は予定どおり実施して、おおむね例年どおりの参加者数となりました。

9月に開催した幕末維新関連の歴史講座や、10月の「ストーリーテリングのつどい」については、参加者のマスク着用・手指の消毒・検温、会場の換気、講師と聴講者の間にパーテーションを設けるなどのコロナ対策に留意して実施し、例年と同程度の参加者にお集まりいただきました。

2月、3月には新たな取組として、中央小学校3年生の皆さんに御来館いただき、図書館職員が小学生向け図書の配架場所や図書の借り方などについて説明し、図書館で読書を楽しんでもらうとともに、児童全員に本を借りていただいたところ です。

事業実績の説明は以上でございます。

引き続き、令和3年度の事業予定について申し上げます。資料は10ページです。

まず「①図書館利用促進のためのイベント開催」についてです。毎年実施しております歴史講座は、例年の幕末維新関連のテーマに加え、今年度、重源上人が生誕900年を迎えることを記念し、重源上人に関するテーマの講座を追加開催予定です。「ストーリーテリングのつどい」は、昨年同様に10月開催、七夕かざりは、7月開催を予定しております。

次に「②子どもの読書活動の推進」です。最初の「イースターイベント」は今年度からの新規行事として、4月3日・4日に実施しました。これは予め図書館内に設置したイースターエッグを子どもたちに探してもらう内容で、なかなか盛り上がったうえ、イースターに関する本を借りて帰った子どももいました。

次の「ブックリンピック」は「こどもの読書週間」に合わせて、4月23日から5月30日の期間で実施しております。「図書館探検隊」は徳地地域の小学5・6年生を対象に、夏休み期間中の開催を予定しております。「ブックスタート体験会」は5月・9月・11月・3月の年4回実施予定でございます。

最後に、図書館での授業につきまして、先ほどの「事業実績」で説明しましたとおり、昨年度から新たに行っているものを、今年度は中央小学校2年生を対象に実施予定でございます。

「③地域の情報発信」についてです。昨年、図書館の入口からすぐのところに陳列棚を新たに設置し、そこを「徳地情報コーナー」としました。情報コーナーでは、徳地地域の団体が作成した文化・歴史・グルメ・イベント等に関するリーフレットやチラシを設置し、来館者が自由に閲覧／持ち帰れるようにしました。今年度もこの情報コーナーを活用し、スポ少のバレーボール部員勧誘や近くのお寺による

認知症カフェ、徳地交番からの速報など、様々な情報を発信しております。

最後の「④新型コロナウイルス感染防止対策」ですが、今年度、新たに「図書除菌機」の設置を予定しております。その他にも消毒や換気など、これまでの対策を引き続きしっかり行い、来館者が安心して利用できるよう努めてまいります。

以上、徳地図書館の説明を終わります。

○安光会長

ありがとうございます。最後に阿東図書館長さん、お願いいたします。

○阿東図書館・塩見館長

阿東図書館でございます。まず昨年度の事業実績です。資料7ページの一番右の欄を御覧ください。

まず、8月の「図書館まつり」と4月の「こどもワイワイ図書館」をコロナの影響で中止としました。なお、今年度は「こどもワイワイ図書館」を既に終え、「図書館まつり」も開催に向けて準備を進めているところです。

例年毎月実施しているDVD上映会については、春先は中止しましたが、年度後半にかけて、子ども向け・大人向け合わせて5回ほど実施いたしました。大人向けの上映会においては、本日御出席されている大野委員が地域史において貴重な資源を映像に収めており、その映像を地域の皆様に改めて御覧いただくかたちで進めております。

その他、発達障害に関連する図書の展示を実施しました。また、イベントというほどではないですが、図書館職員が知恵を絞り、テーマを定めた企画展示を年間にわたって行っております。

令和3年度の取組予定につきましては、資料10ページを御覧いただければと思います。

まず、「①図書館利用促進」の中で「地域交流センターとの連携」を掲げておりますけど、阿東図書館は阿東地域交流センターに併設された施設となっており、両施設の相互利用の推進に積極的に取り組んでおります。先ほど説明しましたDVD上映会についても、阿東地域交流センターの小ホールをお借りして実施しております。

そして、「『ぶっくん』を利用したイベント」です。阿東図書館では、徳地地域と阿東地域向けに移動図書館車「ぶっくん」の運行をしておりますが、昨年度は返却場所を追加するなどして、利用促進に努めております。特に、小学校などでは、大変喜ばれます。今後、どのように利用者を増やしていくのか、知恵を絞りながら考えていきます。

また、先ほどの「こどもワイワイ図書館」の中で「ぶっくんカフェ」を実施し、見て、触ってという行為を通じて利用促進につなげていきました。

「②各分館配送サービスの周知」です。阿東地域と徳地地域にある地域交流センターの各分館にて、貸出本の配送や返却本のお取り置きサービスを実施しておりますが、特に徳地地域の利用が少ない状況なので、どうしたら利用してもらえるか、

考えていく必要があります。

「③移動図書館の周知」につきましては、「ぶっくん」を定期的に利用されている方がたくさんおられるものの、利用者の拡大については厳しい状況であるため、既存の利用者の友人等に利用してもらえるような取組が今後考える必要があると思っています。

以上でございます。

○安光会長

ありがとうございます。

以上、「各館の令和2年度事業実績及び令和3年度事業予定」について、それぞれの館長さんから御説明がありましたが、ここで何か御質問等ありますでしょうか。

○田邊委員

分からないので教えていただきたいのですが、資料5ページに「ブックスタート推進事業」というのがありますけど、これって阿知須図書館だけが実施したのですか。資料からは阿知須図書館だけ実施したように見えたのですが。

○中央図書館・尾崎管理主幹

「ブックスタート推進事業」は、各地域で実施しております。御覧いただいた業務実績にその旨が書かれているか否かというのもありますけど、それぞれの地域図書館が事業を受け持っており、旧市内の南部は小郡図書館、北部は中央図書館といったように「ブックスタートパック」の贈呈を全地域でやっていることになりました。

○田邊委員

では、なぜ阿知須図書館だけ業務実績に書いているのですか。そのことと何か関係があるのですか。

○中央図書館・尾崎管理主幹

資料7ページの「ブックスタート推進事業」の欄に実績を書いたのが、たまたま阿知須図書館だけだったということになってしまいました。

○田邊委員

では、他のところはやっているけど載せていない、ということですか。

○中央図書館・尾崎管理主幹

阿知須以外の実績については7ページの資料には、記載いたしておりませんが、「ブックスタート推進事業」自体は全地域で実施しております。全体の数値は資料5ページに記載しておりますが、地域別の数値は掲載いたしていません。

○中央図書館・村中副館長

先ほどの説明が分かりにくかったようなので補足しますと、令和元年度までは旧山口市地域については中央図書館が一括して担当し、それ以外の地域に関しても各地域図書館が担当しました。令和2年度からはコロナの影響もありますが、例えば旧山口市地域でも南にいくほど中央図書館との距離が遠くなることから、名田島地

域、二島地域、嘉川地域、佐山地域については各地域との距離が近い小郡図書館が担当することになりました。先ほどの北部・南部といいますのは、旧山口市地域における北部・南部ということで御理解いただければと思います。そのほか、秋穂地域、阿知須地域とそれぞれのところで「ブックスタート推進事業」を実施しておりますが、取組の方法や回数については各地域の人口とも関係し多少異なっております。阿知須図書館のように地域全体をカバーするやり方、旧山口市地域の北部と南部のように担当図書館が分かれるやり方、地域を地域交流センター単位で分けるやり方と、図書館によってやり方多少違ってきますし、図書館の名称にある地域と実施カバーする地域では、ずれが生じておりますので、図書館ごとの計上をうまく計上できなかったというところでございます。

○安光会長

ありがとうございました。他に何かございますでしょうか。

○牛見委員

質問です。学校図書館の1人当たりの貸出冊数が46冊と出ておりましたが、それは小・中合わせてのことですか。

○中央図書館・尾崎管理主幹

この46冊というのは、小学校・中学校を合わせた平均の数字ということで、毎年、学校教育課からいただいているデータでございます。

○牛見委員

小学校と中学校ではだいぶ違うかと思いますが、やっぱり両方を合算したものの平均のほうが良いのですか。

○中央図書館・尾崎管理主幹

なぜ小学校と中学校を合算するのかについては、市が決めているのですが、「子ども読書活動推進計画」を進める中で、市立学校全体の貸出冊数を資料の根拠としているものですから、その関係でこのような報告のしかたとなっております。もちろん、学校教育課では小学校と中学校で別々にデータを取っていると聞いております。

○牛見委員

もうひとつ質問良いですか。「山口市読書ノート」というのを御存知でしょうか。小学3年生以上の全員に配られており、学校では“図書館と子どもをつなぐもの”として扱っていますが、そういったことは事業の範囲に入りませんか。

○中央図書館・尾崎管理主幹

すみません、報告の中には入っておりませんが、「読書ノート」は市立図書館が各学校にお願いしている事業です。各学校ともこれに協力的で、一生懸命取り組んでおり、今年度も各学校に対してお願いをさせていただいております。事業報告には書きませんでしたが、一生懸命やらさせていただいている事業になります。

○牛見委員

学校としても取り組んでいることなので、ぜひ周知のためにも事業報告に書いて

いただきたいと思います。

○坂田委員

「ブックスタート推進事業」の件で、説明を聞いて分かったのですが、資料だけだと分かりにくいと思うので、ここに「地域交流センター単位での実施」など、やり方について書いていただけたほうが良いと思います。これってどこかに提出するのではないのですか。実績報告において該当の欄が空欄のままだと、その地域では「ブックスタート推進事業」を実施していないと誤解されてしまうと思います。

それともうひとつ、阿知須図書館の朗読サービスに関してです。実績報告では「中本さんの朗読サービス」と記載されておりますが、これを「視覚障害者への朗読サービス」に書きかえるほうが良いと思います。個人名が出るのは好ましくないと

○安光会長

今回御指摘いただいた部分について、今後、気をつけていただきたいと思います。空欄のままではその事業をやっていないかのように感じるのと、学校との連携についても加えていただきたいと思います。

○國弘委員

資料7ページの一覧表を見て、中央図書館の行事の多さにビックリしましたけど、これだけの行事を実施していることについて、まず感謝したいと思います。

裏を返せば、それだけ私が行事の開催を知らなかったという無知をさらけ出してしまうわけですが、「ライブラリー」等で広告はされていますよね。

○中央図書館・尾崎管理主幹

もちろん出させていただいておりますが、実は、市立図書館ホームページに掲載されている主な行事のほとんどが、「まちじゅう図書館事業」の関連イベントでございます。これに関しては、図書館内で実施する場合もあって、参加者数20人弱の規模がほとんどです。

イベント実施の際には市立図書館ホームページに情報を掲載するのですが、掲載後1・2日で参加受付終了となります。「ライブラリー」に出せるタイミングのときは出すのですが、主にホームページでやらせていただいておりますし、参加人数が多くなる場合は、報道機関にチラシを配布しています。

○國弘委員

では、月初めにホームページを見ればよろしいですか。

○中央図書館・尾崎管理主幹

そうですね、行事が決まったら月初めに限らず、情報解禁ができるタイミングでホームページに掲載するようにしています。ホームページを日々更新していく中で、準備出来次第情報を掲載するものの、参加者はすぐ定員に達してしまいます。

○安光会長

今の説明でホームページの情報掲載については理解したのですが、どの行事にも毎回参加しているような方についての統計を取っているのでしょうか。というの

が、このリピーターによって参加人数が独占されてしまうと、“ホームページを見た者勝ち”みたいな雰囲気になって公平性が失われる。ちょっとそのやり方を変える必要があるのではないかと思うので、リピーターに関する調査・分析をされたほうが今後のためにもなるのではないですか。回数を実施していても、実際、図書館サービスの利用者が広がっていないということになりかねない。リピーターの個人情報を知る気ではありませんが、より多くの市民に参加してもらうためには、別の方法で広報するのもあるのではないのでしょうか。いろんな広報の方法を考えるべきだと思います。

○中央図書館・尾崎管理主幹

今の話についてですが、行事への参加は事前申込制なので参加者のお名前を控えさせていただき、コロナ禍でもあるので名簿を作成しております。対象者がいろいろな年齢層だったり、行事の内容がバラバラだったりして、私どもとしては基本的に同じ人ばかり来ているとは感じてはいないところです。

○安光会長

それは分かります。でも、きちんとデータベース化すれば出来ることなので。別に私は参加者の名前を記載してほしいと言っているわけではないですが、やはり、一定の誰かに独占されるというのは、好ましくないと思いますし、利用者を広げるという意味で、考えていくべきではないかと思います。

○中央図書館・尾崎管理主幹

参加者を広げるための工夫はしていきたいと思っております。現時点でリピーターによる独占はないことだけお伝えしておきます。

○山口委員

利用者視点でいうと、ホームページに行事予定はアップされているし、図書館内にチラシは掲示されている。こうして行事予定は多くの人目に触れられており、興味の対象が違うようなイベントを実施しているので、リピーターに独占されるようなことはなっていないと思います。事業者さんとの連携という意味でも、とても良い取組だと思います。

○安光会長

御意見等まだあるかと思いますが、急遽いろんなことが入りましたので、申し訳ありませんが次にいかせていただきます。

「5. こどもワイワイ図書館 実績報告」について、事務局から提案があるとのことなので、御説明をお願いします。

○中央図書館・村中副館長

事務局から御提案について説明いたします。

「こどもワイワイ図書館 実績報告」につきましては、大野委員が各館の様子や各館長へのインタビューを撮影し、編集したDVDを本日お持ちになられているので、よろしければこの協議会をいったん締めた後、上映させていただくことで各館長からの報告に代えさせていただきたいと思いますが、皆様はいかがでございます

ようか。

○安光会長

よろしいでしょうか。大野委員は市立図書館全館を回って撮影して下さったということで、協議会が終わってから見させていただこうと思います。DVDの上映時間が約40分の予定ということで、それも含めて15時30分までに終わるために、この後の発言は1人1点にさせていただきたいと思います。どういう観点でもいいので、何か御質問等ある方はお願いします。

○中村委員

資料7ページの事業実績で全体の行事が空欄になっていますが、自分の認識では、中央図書館の欄にある「ブックスタートボランティア養成講座」は確か阿知須や小郡からも参加があったので、私の中では中央図書館だけの行事というよりは、市立図書館全体の事業のように受け止めておりました。そのあたり、何か整理されると良いかなと思います。

○中央図書館・村中副館長

それについてはおっしゃるとおりで、元々は、旧山口市地域在住の方を対象とした中央図書館の事業として、ブックスタートボランティアの人数が少ない館へお声がけして、その館が実施する地域に在住の方も対象として募集していたようです。

現在は、市内の他の図書館のエリアの方も参加していただく形で行っていますので、おっしゃるとおり、次回からそのように資料を整えていきたいと思います。

○大野委員

今朝の新聞によれば、新型コロナ感染者増加に伴い、山口市内で行事を中止する傾向となっております。こういったことから、この協議会も中止になると思ったほどです。この傾向が続くとなれば、図書館の行事も中止となるのでしょうか。

○中央図書館・村中副館長

5月19日に、市が主催するイベントを5月31日まで中止、延期する旨を発表しました。ただ、イベントの開催については、国や県から開催に関する基準が出ているので、この基準に沿って対策を講じていけばひとまず開催できることになっています。原則、施設については休館しないものの、地域交流センターの貸館は不特定多数の利用が想定されることから、該当期間中の自粛を呼び掛けているようです。市立図書館は休館にならず、小規模な行事であれば余程の接触がない限り、各種対策に加え、参加者名簿を作成したうえで、予定どおり実施できることになっています。該当期間中で延期となったのは「まちじゅう図書館」のこどもの前髪の切り方についての接近近接の機会を伴う行事のみです。この協議会に関しても、この部屋とこの人数だったら基準内ということで実施させていただきました。

○安光会長

本当は委員全員からまだまだ御意見等をいただくのが理想ですが、今日は、これで、締めたいと思います。

○田邊委員

ちょっとだけ言わせてください。私は、小郡図書館友の会の「鉢の子」から来たのですが、「鉢の子」メンバーから4件質問等を預かっているのと、個人としても2件質問があったのでお伺いしたかったのですが、時間が無いようなので1件だけ、おたずねします。

これは「鉢の子」メンバーからの意見ですが、会計年度任用職員の方に職務時間の中で図書館への研修を行っていただきたい。退職された後、次のステップにつなげるために必要だと思います。普通の事業所ではキャリア研修等を実施しており、市の会計年度任用職員だからといって研修が受けられないというのは不平等なので、そういうことは可能か、ということです。

○中央図書館・尾崎管理主幹

今、おっしゃられていたことですが、各地域図書館の職員について、中央図書館ほどの人数を雇い入れてきていないことから、日々の業務を優先し、研修に行くようなことは出来ていない部分があります。なお、中央図書館の職員については現在、リモートによる研修を受けております。地域図書館の会計年度任用職員に対する研修については、今後検討していきたいと思います。

○安光会長

せっかく御意見等を持ち込んでいただいたのに、1件しかお聞きすることが出来なくて申し訳ないですね。

○山口委員

最後に良いですか。皆さん一人一言出していいのではないかと思いますけど。何も言わないで帰るよりかはいいと思います。

○安光会長

では手短にお願いします。

○山口委員

ちょっと話がずれるかもしれませんが、今年、山口市で少年期を過ごしたといわれる作家・国木田独歩が生誕150周年を迎えます。図書館としては国木田独歩に関してどのような取組をされるかを伺いたかったです。

現在の白石小学校（当時は山口今道小学校）を卒業し、現在の山口高校（当時は山口中学校）も途中まで在籍していたので、山口とは関わりが深いと思います。

柳井市や田布施町では大掛かりな記念行事を実施していると聞きましたので、山口市でも同様に取り組むべきではないかなと、せめて本の展示だけでもしてもらえたらと思います。

○安光会長

これは要望ということで、よろしく願いいたします。では、山本委員も何かあれば、お願いします。

○山本委員

行事のところで、「発達障害にかかる関連図書展示」など、今までやったことが無いような図書館展示がありました。現代的な問題に対して真摯に取り組んでいた

印象だったので、他にそういうことがあればお聞きしたかったのですが、またの機会にお願いします。

○安光会長

すみません、次回の協議会で御意見等を頂戴できればと思います。

それでは、以上で議事を終了します。事務局に進行をお返しいたします。

○中央図書館・村中副館長

それでは事務局から2件連絡させていただきます。

1つ目は、次回の開催時期につきまして、松富館長からもお話がありましたとおり、今年度は「第四次山口市立図書館サービス計画」策定のためのアンケート調査が予定されておりますことから、例年、秋に開催するところを前倒ししての開催になるかと思えます。開催日によっては御都合もあろうかとは思いますが、その折には御協力をお願いいたします。

あわせて、本日はせっかく来られたのに、関係者から預かってきたという御意見等を伺うことが出来なかったということで、非常に心苦しいですけど、出来れば御意見等を預かったタイミングで事務局へご連絡をしていただければ、我々も回答を用意させていただきますので、そのあたり、よろしくをお願いいたします。

次に2つ目としまして、これは新しい方のみになるかと思えます。報酬・旅費等の口座について事前に様式を送らせていただいておりますが、まだの方は提出をお願いいたします。

事務局からは以上でございます。

これで「令和3年度 第1回 山口市立図書館協議会」を終了いたします。会議の円滑な進行に御協力いただき、ありがとうございました。

それでは、大野委員が作成された「こどもワイワイ図書館」のDVD上映の準備をいたします。

－ 「こどもワイワイ図書館」のDVD上映 －

上映終了後、散会

山口市立中央図書館

TEL 083-901-1040